



盗んだ物を人の見えるようにして持っていく者はいないわけですからとうとう見つからなかったのです。仕方がないので出口のところに行って駅員に事情を話したのです。ところがその人が「それはとても見つからないでしょう。しかし念のため、向こうに派出所があるから、そこに行って頼んでおいたらどうですか。」というのです。私は仕方がないのでそこに行行って事情を話して、そのままロータリークラブの講演にいったのです。

カバンの中にはお金などは入れていません。愛国百人一首を一首一画ずつ絵にした貴重な巻物や、六十年前、英国から取り寄せた英語の速記の辞書など、取替えのできないものを入れていたのです。全く不注意なことをしたものだと思つて悔んだのです。

ところが警察からロータリークラブに電話がかかり、忘れ物は東京駅の忘れ物預かり所に保管していると知らせて来たのです。全くありがたいこと、神様の助けかと思つたのでした。東京に着いてから早速受け取りました。

三、カバン（徳山駅）

山口県の徳山駅だつたと思います。そこで切符を買つてホームに出たのです。ところがホームに出てからカバンを忘れたことに気がついたのです。びっくりしました。ホームから切符を買つたところまでは大